

奈良県教育委員会

# 週報

第2293号

平成30年5月10日発行

# 目 次

( 件 名 )	(宛 先)	(主管課)	(頁)
平成30年度奈良県教育委員会教育職員免許法認定講習の実施について	各市町村教委教育長 各学校(園)長	教職員課	1
「大学院修学休業制度」による教員の大学院研修について	各市町村教委教育長 各公立小・中学校長 各県立学校長	教職員課	8
平成31年度奈良県・大和高田市公立学校教員採用候補者選考試験の実施について	各市町村教委教育長 各学校(園)長	教職員課	20
「1日こども知事」の募集について	各市町村教委教育長 各小学校長	学校教育課	33
平成30年度第1学期奈良県算数数学教育研究発表会の開催について	各市町村教委教育長 各小・中学校長 各中等教育学校長 各特別支援学校長	学校教育課	35
平成30年度における教科書展示会の開催について	各市町村教委教育長 各学校長	学校教育課	38
第40回「少年の主張」奈良県大会～わたしの主張2018～の実施について	各市町村教委教育長 各中学校長 各中等教育学校長 各特別支援学校長	学校教育課	40
平成30年度奈良県中学校理科教育研究会研究総会の開催について	各市町村教委教育長 各中学校長 各中等教育学校長 各特別支援学校長	学校教育課	44
平成30年度奈良県図画工作・美術教育研究会総会の開催について	各市町村教委教育長 各小・中学校長 各中等教育学校長 各特別支援学校長	学校教育課	46
平成30年度第40回奈良県小学校生徒指導研究会総会並びに研究集会の開催について	各市町村教委教育長 各小学校長	生徒指導支援室	48

スクールカウンセリングカウンセラーの派遣について	各市町村教委教育長 各公立学校（園）長	生徒指導 支援室	50
平成30年度新任管理職アンガーマネジメント研修会開催について	各市町村教委教育長 各学校長	生徒指導 支援室	54
平成30年度奈良県小学校体育研究会前期研究大会の開催について	各市町村教委教育長 各小学校長 各特別支援学校長	保健体育課	56
平成30年度文部科学省補助事業学校におけるプールに関する保健衛生管理研修の開催について	各市町村教委教育長 各学校（園）長	保健体育課	58
平成30年度「歯を守る図画・ポスター・標語コンクール」について	各市町村教委教育長 各小・中学校長 各中等教育学校長 各特別支援学校長	保健体育課	63
平成30年度「奈良県幼児の運動能力等実態調査」実施連絡会の開催について	各市町村教委教育長 各園長	教育研究所	69
平成30年度幼稚園教育理解推進事業（奈良県協議会）全体会の開催について	各市町村教委教育長 各園長	教育研究所	71
平成30年度第1回就学前教育職員研修会の開催について	各市町村教委教育長 各園長 各特別支援学校長	教育研究所	73

（次の週報は、平成30年5月17日（木）発行の予定です。）

各市町村教委教育長 }  
各学校(園)長 } 殿

奈良県教育委員会教育長

## 平成30年度奈良県教育委員会教育職員免許法認定講習の 実施について

このことについて、下記により実施しますので、教職員にお知らせいただきますようお願いいたします。

### 記

#### 1 目的

教育職員免許法(昭和24年法律第147号)の規定に基づき、教職員に対し免許状取得に必要な単位を修得する機会を与え、ひいては教職員の資質の向上を図ることを目的とする。

#### 2 講習会場

奈良教育大学 奈良市高畑町

#### 3 講習期間

第1講座 平成30年8月22日(水)、8月23日(木)

第2講座 平成30年8月29日(水)、8月30日(木)

#### 4 受講資格

##### (1) 幼稚園、小学校又は中学校教諭の1種免許状を取得する場合

幼稚園、小学校又は中学校教諭の2種免許状を有し、現在幼稚園、小学校又は中学校(特別支援学校の幼稚部、小学部、中学部及び中等教育学校の前期課程を含む。)に勤務している教員

##### (2) 特別支援学校教諭1・2種免許状を取得する場合

ア 幼稚園、小学校、中学校又は高等学校教諭の免許状を有し、現在学校に勤務している教員(2種免許状を取得する場合)

イ 特別支援学校教諭2種免許状を取得した後、免許状の当該学校に勤務している教員

(3) 養護教諭 1・2 種免許状を取得する場合

養護教諭 2 種又は養護助教諭免許状を有し、現在学校に勤務している養護教員

(4) 栄養教諭 1・2 種免許状を取得する場合

管理栄養士又は栄養士の免許状を有し、現在学校等に勤務している学校栄養職員

5 対象免許状及び受講定員

免許状の種類	講座 1	講座 2
幼稚園教諭 1 種	教職	
小学校教諭 1 種	教職	
中学校教諭 1 種	教職	
特別支援学校教諭 1・2 種		特別支援教育
養護教諭 1・2 種	教職	
栄養教諭 1・2 種	教職	
受講定員	80人	80人

6 講習日程、時間、科目及び講師等

講座番号	日程	講習時間	講習科目		講師
1	8月22日(水)	9:00~17:00	教 職	生徒指導の心理学  (第4欄)	奈良教育大学  准教授 中山 留美子 准教授 出口 拓彦
	8月23日(木)	9:00~17:00			
2	8月29日(水)	9:00~17:00	特 別 支 援 教 育	肢体不自由教育総論  (第2欄)	奈良教育大学  教授 玉村 公二彦 教授 根来 秀樹
	8月30日(木)	9:00~17:00			

7 単 位

修得単位は各科目とも1単位とし、定められた授業時数を出席し、試験その他による成績審査に合格した者に授与する。

8 受講料

徴収しない。ただし、受講に要するテキスト代及び教材費等は受講者の負担とする。

## 9 受講申込み

申込みは、郵送により行うこと。

### (1) 受講申込手続き

受講希望者は、次の書類を提出すること。

ア 平成30年度奈良県教育委員会教育職員免許法認定講習受講申込書（別記様式1）

イ 平成30年度奈良県教育委員会教育職員免許法認定講習受講通知書（別記様式2）

ウ 返信用封筒 — 長形3号（12cm×23.5cm）糊付き封筒に82円切手を貼り、宛先を明記

### (2) 申込期限

平成30年6月15日（金）消印有効

### (3) 申込先

〒630-8502 奈良県教育委員会事務局教職員課 定数管理係

表に「認定講習申込書在中」と明記すること。

TEL 0742-27-9805

## 10 受講者の決定

(1) 受講希望者が定員を超える場合は、現在教諭の職にある者を優先し、在職年数・既修単位数等を考慮し受講者を決定する。

(2) 特別支援教育に関する科目については、現在特別支援学校の教諭の職にある者を優先する。

(3) 奈良県内の学校勤務者を優先し、受講人員に余裕がある場合には他府県からの受講を許可する。

## 11 その他

(1) 必要事項については、受講通知の際に連絡する。

(2) 免許状取得に必要な単位数については、（別紙）を参考にすること。

(3) 受講希望者が少ない講座については、講習を中止する場合がある。

(4) 他府県で実施される認定講習の受講希望者は、奈良県教育委員会事務局教職員課定数管理係（担当：吉田）に概要を確認した上で、受講手続きをすること。

(別紙)

### 上級免許状取得のための最低修得単位数

1 小学校・中学校 1 種免許状

2 種免許状での実務年数が 12 年以上（4 年制大学卒業等の場合は、6 年以上）の場合

※ 中学校は各教科の 2 種免許状での実務年数

	教科	教職	教科又は教職	合計
小学校 1 種	1 単位	7 単位	2 単位	10 単位
中学校 1 種	3 単位	5 単位	2 単位	10 単位

2 養護教諭 1・2 種免許状

(1) 養護教諭 1 種免許状・・・2 種免許状での実務年数が 5 年以上の場合

(2) 養護教諭 2 種免許状・・・臨時免許状での実務年数が 10 年以上の場合

	養護	教職	養護又は教職	合計
養護教諭 1 種	4 単位	4 単位	2 単位	10 単位
養護教諭 2 種	4 単位	4 単位	2 単位	10 単位

3 特別支援学校教諭 1・2 種免許状

(1) 特別支援学校教諭 1 種免許状・・・特別支援学校教諭 2 種免許状取得後、特別支援学校で教員として実務年数 3 年以上

(2) 特別支援学校教諭 2 種免許状・・・幼稚園、小学校、中学校又は高等学校教諭免許状取得後、免許状の当該学校で教員として実務年数 3 年以上

免許法施行規則の科目区分	特別支援教育に関する科目				
	第 1 欄	第 2 欄	第 3 欄		
	特別支援教育の基礎理論に関する科目	特別支援教育領域に関する科目	免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目	選択	合計
特別支援学校 1 種		4 単位	1 単位	1 単位	6 単位
特別支援学校 2 種	1 単位	3 単位	2 単位		6 単位
特別支援学校免許状取得のための奈良県認定講習での開講科目		肢体不自由教育総論			

#### 4 栄養教諭1・2種免許状

- (1) 栄養教諭1種免許状・・・管理栄養士免許取得後又は管理栄養士養成課程を修了し栄養士免許取得後、学校栄養職員としての実務年数が3年以上の場合
- (2) 栄養教諭2種免許状・・・栄養士免許取得後、学校栄養職員としての実務年数が3年以上の場合

	栄 養	教 職	合 計
栄養教諭1種	2単位	8単位	10単位
栄養教諭2種	2単位	6単位	8単位

教諭又は養護教諭の普通免許状を有する者は、「栄養」に係る教育に関する科目の2単位のみで免許取得可能

※ 現在、学校等に勤務している学校栄養職員に限る。



## 別記様式 1

平成30年度奈良県教育委員会教育  
職員免許法認定講習受講申込書

勤務校・職名等	都道府県		学校名	
	職名		TEL	
現住所	(TEL )			
(フリガナ) 氏名		性別	生年月日	年 月 日
取得希望 免許状	[ ] 教諭 [ ] 種免許状・教科又は領域 [ ] (中学校教諭免許状の場合は教科、特別支援学校教諭免許状の場合は領域 を記入すること。)			
受講希望 科目名	講座番号	科目名	講座番号	科目名
所有(基礎) 免許状	[ ] 教諭 [ ] 種免許状・教科 [ ] 取得年月日 年 月 日 (取得希望免許状の基礎となる免許状を記入すること。) 基礎となる免許状で勤務した年数 年 月(平成30年6月1日現在) (特別支援学級担任経験のある方) 年 月(平成30年6月1日現在) [ ] 免許状 取得年月日 年 月 日 (栄養教諭免許状希望者は、管理栄養士又は栄養士のいずれかを記入す ること。)			
取得希望免許状 に関して認定講 習等で既に修得 した科目名及び 単位数 (履修科目がな い場合は斜線 を引くこと)	科目名	単位数	科目名	単位数
奈良県単位台帳登録番号				
手話通訳・要約筆記の必要の有無		( )手話通訳を必要とする ( )要約筆記を必要とする		
上記教員の受講を認めます。				
平成30年 月 日				
学校(園)長名				印

- (注) 1 「奈良県単位台帳登録番号」欄は、必ず記入すること。  
記入例・・・「あー354」のように記入し、初めて受講する者は「初」と記入すること。  
2 用紙はA4縦長の大きさにすること。  
3 手話通訳、要約筆記を必要とする場合は、必要な方に○印をつけること。

平成 3 0 年度奈良県教育委員会教育  
職員免許法認定講習受講通知書

勤務校	都道府県		学校名	
現住所				
氏名				
取得希望 免許状	[                    ] 教諭 [     ] 種免許状・教科又は領域 [                    ] (中学校教諭免許状の場合は教科、特別支援学校教諭免許状の場合は領域を記入すること。)			
受講希望 科目名	講座番号	科目名		許可等
				※ 許可 ・ 不許可
				※ 許可 ・ 不許可
※                    平成 3 0 年     月     日  奈良県教育委員会事務局 教 職 員 課 長				

- (注) 1 ※欄以外は本人が記入すること。  
2 用紙は A 4 縦長の大きさにすること。

平成30年5月10日

各市町村教委教育長  
各公立小・中学校長  
各県立学校長 } 殿

奈良県教育委員会教育長

## 「大学院修学休業制度」による教員の大学院研修について（通知）

このことについて、平成13年4月1日施行の「大学院修学休業実施要綱」に基づき、専修免許状を取得するため大学院入学を平成30年度中に志願する教員がいる場合、別紙『大学院修学休業制度』による教員の大学院研修に関する留意事項」を参考にし、下記事項に留意の上、必要書類を取りまとめ提出願います。

### 記

#### 1 提出書類

(1) 市町村立（組合立）学校の教員（県費負担教員に限る。）の場合

ア 受験同意願（第1号様式）

イ 学校長副申（第2号様式）

ウ 協議書（第3号様式）

(2) 県立学校の教員の場合

ア 受験同意願（第1号様式）

イ 学校長副申（第4号様式）

#### 2 提出先

奈良県教育委員会事務局教職員課

#### 3 提出期限

受験する大学院の出願期間の初日の1か月前まで（外国の大学の場合は、2か月前まで）

#### 4 備 考

(1) 取得しようとする専修免許状に係る基礎となる免許状の所有を確認すること。

(2) 各大学大学院の募集要項等については志願者各自で入手させること。

- (3) 受験同意及び休業許可手続等については、別添留意事項を参照すること。
- (4) 外国の大学院における専修免許状取得については、単位認定が必要であるため事前に  
県教育委員会へ相談すること。
- (5) 問合せ先

奈良県教育委員会事務局教職員課 人事企画係 (担当：表)

TEL 0742-22-1101 (内線 5238)

0742-27-9844 (直通)

FAX 0742-24-7256

<別紙>

## 「大学院修学休業制度」による教員の大学院研修に関する留意事項

平成13年4月1日施行の「大学院修学休業実施要綱」に基づき、教員が大学院を受験しようとする場合は、次の各点に留意して、手続をしてください。

### 1 資格

次の①～③のいずれにも該当する主幹教諭、教諭、養護教諭及び栄養教諭

- ① 申請時において県内公立学校における3年以上の教職経験を有し、かつ、定年退職日までに5年以上の期間を有する者
- ② 各大学の大学院募集要項に規定される資格を有する者
- ③ 取得しようとする専修免許状に係る基礎となる免許状を既に所有し、専修免許状を新たに取得しようとする者

### 2 入学志願者の受験等に際する同意及び修学休業許可を得るための手続

- ① 市町村立（組合立）学校の教員（県費負担教職員に限る。）の場合
  - ・ 受験しようとする者は、受験同意願（第1号様式）及び学校長副申（第2号様式）を市町村教育委員会教育長に提出する。市町村教育委員会教育長は、協議書（第3号様式）に上記書類を添付して県教育委員会教育長に提出し、受験同意を得る。
  - ・ 同意を受けた受験者は、試験の結果を、可否の如何に関わらず、速やかに大学院等受験結果報告書（様式任意、通知書写し添付）により、市町村教育委員会教育長を通じ、県教育委員会教育長に報告する。
  - ・ 合格者は、速やかに修学休業許可申請書（第5・6号様式及び「大学院修学休業許可申請について（内申）」）を、市町村教育委員会教育長を通じ、県教育委員会教育長に提出する。
- ② 県立学校の教員の場合
  - ・ 受験しようとする者は、受験同意願（第1号様式）及び学校長副申（第4号様式）を県教育委員会教育長に提出し、受験同意を得る。
  - ・ 同意を受けた受験者は、試験の結果を、可否の如何に関わらず、速やかに大学院等

受験結果報告書（様式任意、通知書写し添付）により、学校長を通じ、県教育委員会教育長に報告する。

- ・ 合格者は、速やかに修学休業許可申請書（第5・7号様式）を、学校長を通じ、県教育委員会教育長に提出する。

### 3 受験同意

次のいずれかに該当する場合は、県教育長は、同意願出者が試験を受けることに同意しないものとする。

- ① 同意願出者の履修しようとする大学院の課程等が、当該履修により専修免許状の授与を可能とするような形態になっていないとき。
- ② 大学院の課程等に係る在学形態が、当該同意願出者の本来の勤務と両立するものであるとき。
- ③ 職務を通じて培った課題意識を基にして大学院の課程等において専門的な研究に従事することにより、その資質を高め、その研究の成果を学校教育に還元するという研修意欲が当該同意願出者において不十分であると認められるとき。
- ④ 休業を許可することによって、学校運営、人事管理等における著しい支障が生じるものと認められるとき。

### 4 その他

- ① 大学院修学休業期間は、原則として2年以内で年を単位とする。

（やむを得ない理由で、研修期間を延長しなければならない場合は、3年間を限度とする。）

- ② 大学院修学休業期間内において休職・停職処分を受けた場合や、休学・退学、あるいは頻繁な授業欠席等研修状況に変化があった場合は、大学院修学休業許可の失効、取り消し等必要な措置をとる。

(第1号様式)

## 大学院修学休業のための大学院等受験同意願

年 月 日

〇〇〇教育委員会教育長 殿

所属校名

職名 氏 名 印

教育公務員特例法第5章の規定に基づく大学院修学休業をするために、下記のとおり、大学院の課程等に係る入学者選抜試験を受けたいので、受験に同意くださいますようお願いいたします。

### 記

1 受験しようとする大学院の課程等

(1) 名称

(2) 所在地

(3) 履修予定内容

(4) 入学者選抜試験

① 出願期間 年 月 日 から 年 月 日 まで

② 試験実施日 年 月 日 から 年 月 日 まで

③ 受験結果(合否)判明日 年 月 日

2 大学院修学休業期間 年 月 日 から 年 月 日 まで  
( 年間)

3 現在所有している免許状の種類及び当該免許状使用期間(受験年度末日現在)

所 有 免 許 状	使 用 期 間
	年
	年
	年

4 取得しようとする専修免許状の種類 [ ]

5 添付書類

① 上記3の免許状の写し(両面コピーで校長の原本証明を受けたもの)

② 履歴書

③ 受験しようとする大学院の課程等に関する資料

6 その他特記事項

(第2号様式)

文 書 番 号  
年 月 日

市町村教育委員会教育長 殿

学校長 氏 名 印

### 大学院修学休業のための大学院等受験同意について（副申）

このことについて、年 月 日付けで下記教員から別添のとおり、大学院等受験同意の願い出がありましたので、下記のとおり副申します。

#### 記

##### 1 受験志願者氏名等

職名	氏名	年齢	経験年数	現任校勤務年数	所有免許状及びその使用期間	校務分掌等
					年	
					年	

(年齢及び経験・勤務年数・使用期間：受験年度末日現在)

##### 2 受験を予定している大学院等及び専攻コース等

大学院等及び専攻コース	取得予定専修免許状の種類	試験日	合格発表日

##### 3 学校運営上の支障の有無

##### 4 学校長所見



(第3号様式)

文 書 番 号  
年 月 日

奈良県教育委員会教育長 殿

市町村教育委員会教育長名



### 大学院修学休業のための大学院等受験同意について（協議）

下記の教員が大学院修学休業のための大学院等の受験を志願しております。受験することに同意したいので、協議します。

#### 記

##### 1 受験志願者氏名等

所属学校名	職名	氏名	年齢	経年数	現任校勤務年数	所有免許状及びその使用期間
						年
						年

(年齢及び経験・勤務年数・使用期間：受験年度末日現在)

##### 2 受験を予定している大学院等及び専攻コース等

大学院等及び専攻コース	取得予定専修免許状の種類	試験日	合格発表日

##### 3 所 見

##### 4 勤務状況

##### 5 健康状況

(第4号様式)

文 書 番 号  
年 月 日

奈良県教育委員会教育長 殿

学校長 氏 名 印

### 大学院修学休業のための大学院等受験同意について（副申）

このことについて、年 月 日付けで下記教員から別添のとおり、大学院等受験同意の願い出がありましたので、下記のとおり副申します。

#### 記

##### 1 受験志願者氏名等

職名	氏名	年齢	経験年数	現任校勤務年数	所有免許状及びその使用期間	校務分掌等
					年	
					年	

(年齢及び経験・勤務年数・使用期間：受験年度末日現在)

##### 2 受験を予定している大学院等及び専攻コース等

大学院等及び専攻コース	取得予定専修免許状の種類	試験日	合格発表日

##### 3 学校長所見

(第5号様式)

# 大学院修学休業許可申請書

年 月 日

奈良県教育委員会教育長 殿

申請者 所 属 名 \_\_\_\_\_  
職 名 \_\_\_\_\_  
氏 名 \_\_\_\_\_ 印

下記のとおり、大学院修学休業の許可を申請します。

## 記

- 1 現在所有している免許状の種類 [ ]
- 2 取得しようとする専修免許状の種類 [ ]
- 3 修学を予定している大学院等及び専攻コース等

大学院等及び専攻コース	入学予定日	備 考

- 4 休業予定期間 \_\_\_\_\_ 年 月 日 から \_\_\_\_\_ 年間
- 5 過去に大学院修学休業を取得した期間  
(有・無) \_\_\_\_\_ 年 月 日 から \_\_\_\_\_ 年 月 日まで
- 6 履歴 (別添 履歴書のとおり)

(第6号様式)

文 書 番 号  
年 月 日

市町村教育委員会教育長 殿

学校長 氏 名 印

### 大学院修学休業許可申請について（副申）

このことについて、下記の者が大学院修学休業を申請しておりますので、副申します。

#### 記

##### 1 大学院修学休業申請者

職名	氏名	年齢	経験年数	現任校勤務年数	校務分掌等

(年齢及び経験・勤務年数：休業開始年4月1日現在)

##### 2 修学を予定している大学院等及び専攻コース等

大学院等及び専攻コース	取得予定専修免許状の種類	入学日	修学予定期間

##### 3 学校長所見

(第7号様式)

文 書 番 号  
年 月 日

奈良県教育委員会教育長 殿

県 立 学 校 長 名 印

### 大学院修学休業許可申請について（副申）

このことについて、下記の者が大学院修学休業を申請しておりますので、副申します。

#### 記

##### 1 大学院修学休業申請者

職 名	氏 名	年 齢	経 験 年 数	現 任 校 勤 務 年 数	所 有 免 許 状

(年齢及び経験・勤務年数：休業開始年4月1日現在)

##### 2 修学を予定している大学院等及び専攻コース等

大学院等及び専攻コース	取得予定専修免許状の種類	入学日	修学予定期間

##### 3 学校長所見

文 書 番 号  
年 月 日

奈良県教育委員会教育長 殿

市町村教育委員会教育長名 印

### 大学院修学休業許可申請について（内申）

このことについて、下記の者が大学院修学休業を申請しておりますので、内申します。

#### 記

##### 1 大学院修学休業申請者

職名	氏名	年齢	経験年数	現任校勤務年数	所有免許状

（年齢及び経験・勤務年数：休業開始年4月1日現在）

##### 2 修学を予定している大学院等及び専攻コース等

大学院等及び専攻コース	取得予定専修免許状の種類	入学日	修学予定期間

##### 3 教育長所見

教 職 第 9 9 号

平成30年5月10日

各市町村教委教育長 }  
各学校（園）長 } 殿

奈良県教育委員会教育長

平成31年度奈良県・大和高田市公立学校教員採用候補者  
選考試験の実施について（通知）

このことについて、別紙のとおり行いますので、通知します。

# 平成31年度奈良県・大和高田市公立学校 教員採用候補者選考試験受験案内

奈良県教育委員会  
大和高田市教育委員会

## 【受付期間】（インターネットのみ）

平成30年5月9日（水）9:00～5月25日（金）17:00

## 【第1次試験】

平成30年6月30日（土）（筆記試験・実技試験）

7月14日（土）～16日（月）いずれかの指定された1日（集団面接（個別））

## 【第2次試験】

平成30年8月11日（土）・12日（日）いずれかの指定された1日（実技試験）

8月13日（月）（集団面接（討議））

8月15日（水）～19日（日）いずれかの指定された1日（個人面接）

## 今年度の教員採用試験の特徴（主な変更点）

- ・出願をインターネットによる電子申請のみとしました。
- ・試験合格者が専修免許取得のために大学院（通信制課程を除く）に進学を希望する場合、採用を辞退し、再度受験する必要がありましたが、最長2年間、採用を猶予することとしました。

## 目次

〔1〕 募集する校種等、教科等及び採用予定者数	・ ・ ・ ・ P 2
〔2〕 受験資格	・ ・ ・ ・ P 3
〔3〕 選考種別及び試験内容	・ ・ ・ ・ P 4
〔4〕 出願手続について	・ ・ ・ ・ P 5
1 申込期間	
2 出願方法	
3 出願手続の際の注意事項	
〔5〕 試験日程及び内容等	・ ・ ・ ・ P 7
1 第1次試験について	
2 第2次試験について	
〔6〕 受験時の注意事項	・ ・ ・ ・ P 9
〔7〕 選考方法及び結果発表について	・ ・ ・ ・ P 10
〔8〕 名簿登載及び採用についての注意事項	・ ・ ・ ・ P 10
〔9〕 大学院在学・進学者に対する特例	・ ・ ・ ・ P 11
〔10〕 試験結果の開示及び過去の試験問題の閲覧等	・ ・ P 11
〔11〕 加点申請	・ ・ ・ ・ P 12



## 〔1〕募集する校種等、教科等及び採用予定者数

校種等	教科等	選考区分						H31採用予定者数	
		一般選考	特別選考					小計	合計
			教職経験	小学校英語	中高英語	社会人	大学院		
小学校		○	○	○			○		150人程度
中学校	国語	○	○				○	16人程度	100人程度
	社会	○	○				○	11人程度	
	数学	○	○				○	15人程度	
	理科	○	○				○	11人程度	
	音楽	○	○				○	7人程度	
	美術	○	○				○	7人程度	
	保健体育	○	○				○	12人程度	
	技術・家庭	○	○				○	7人程度	
	外国語(英語)	○	○		○		○	14人程度	
高等学校	国語	○	○				○	6人程度	43人程度
	地理歴史	○	○				○	3人程度	
	数学	○	○			○	○	7人程度	
	理科(物理・化学・生物)	○	○			○	○	7人程度	
	音楽	○	○				○	1人程度	
	美術	○	○				○	1人程度	
	書道	○	○				○	1人程度	
	保健体育	○	○				○	4人程度	
	外国語(英語)	○	○		○		○	8人程度	
	家庭	○	○				○	1人程度	
	農業	○	○			○	○	1人程度	
	工業(電気・情報)	○	○			○	○	1人程度	
	商業	○	○			○	○	2人程度	
特別支援学校	自立活動(肢体不自由教育)を含む	○	○				○		35人程度
養護教諭		○	○				○		10人程度
栄養教諭		○	○				○		6人程度
実習助手	専門学科(工業) 専門学科以外	○							3人程度

- 注) 1 高等学校の保健体育、商業は大和高田市立高田商業高等学校の各々1人を含みます。  
また、県立学校と大和高田市立学校を併願受験することができます。
- 2 上記いずれか一つの校種等・教科等、選考区分についてのみ受験することができます。ただし、「教職経験特別選考」は「小学校英語教育推進特別選考」又は「中学校・高等学校英語教育推進特別選考」を併せて選択することができます。
- 3 特別支援学校の自立活動(肢体不自由教育)は、社会人特別選考のみを対象とします。
- 4 採用予定者数には、特別選考による採用予定者数を含みます。
- 5 日本国籍を有しない人を採用する場合は、任用の期限を付さない講師(常勤)とします。

## 〔2〕受験資格

選考区分には、一般選考のほか、特別選考があり、次の【共通受験資格】と【個別受験資格】の両方を満たすことによって選考区分が選択できます。

### 【共通受験資格】

(1) 次のいずれかに該当する人

- ・ 昭和54年4月2日以降に出生した人
- ・ 昭和43年4月2日～昭和54年4月1日に出生した人で、平成30年3月31日現在において過去に**3年(36月)以上の勤務実績**を有する人
- ・ 昭和34年4月2日～昭和43年4月1日に出生した人で、**任期の定めのない奈良県公立学校栄養職員**として、平成30年3月31日現在において過去に**3年(36月)以上の勤務実績**を有する人

#### 勤務実績(月数)の計算方法

##### ア 対象

国立及び公立学校の教諭、私立学校の正規の教員、奈良県公立学校常勤講師(市町村費常勤講師を含む)及び実習助手(臨時的任用を含む)

※ 栄養教諭：上記に加えて奈良県公立学校栄養職員も含みます。

実習助手：上記に加えて寄宿舎指導員(臨時的任用を含む)も含みます。

社会人特別選考：4頁[個別受験資格]に記載

##### イ 計算方法

- ・ 非常勤職員の期間を除きます。
- ・ 育児休業・休職・停職の期間は除算します。
- ・ 1月に満たない場合は、それぞれの日数を通算し、30日を1月とみなします。ただし、通算後の残り日数が15日以上の場合も1月とみなします。

(2) 受験する校種・教科等の教諭普通免許状を所有(平成31年3月31日までに取得見込を含む)し、所有する免許状の有効な状態を平成31年4月1日現在で保持できる人  
ただし、実習助手及び社会人特別選考を受験する場合は、教諭普通免許状の有無は問いません。

#### ※ 実習助手

専門学科の実習助手を志望する場合は、工業に関する実務経験又は技術を有することが望ましい。また、専門学科以外の実習助手を志望する場合は、特別支援教育、医療、福祉関係又は農業教育の専門性を有することが望ましい。

#### ※ 社会人特別選考(合格後に特別免許状の申請が必要)

受験する教科の教諭普通免許状を所有しない場合は、教科に関する専門的な知識経験又は技能を有し、教員の職務を行うのに必要な熱意と識見をもっている人

(3) 学校教育法第9条及び地方公務員法第16条の欠格事項のいずれにも該当しない人

(4) 自力通勤ができ、かつ、介護者なしで職務遂行が可能な人

(5) 県内どこにでも勤務できる人

### 【個別受験資格】

選考区分	資格要件等
一般選考	【共通受験資格】の要件
特別選考 教職経験 (実習助手志望者を除く)	国立及び公立(奈良県以外)学校の <b>現職教諭</b> 又は私立学校の <b>正規の現職教員</b> で平成30年3月31日現在 <b>3年(36月)以上の勤務実績</b> を有する人、若しくは奈良県内公立学校 <b>常勤講師</b> (市町村費常勤講師、学校栄養職員を含む)及び <b>実習助手</b> (臨時的任用を含む)として <b>直近5年間(平成25年4月1日～平成30年3月31日)で通算3年(36月)以上勤務実績</b> を有する人

	<p>次のいずれかに該当する人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校と中学校外国語（英語）又は高等学校外国語（英語）の教諭普通免許状を共に所有（平成31年3月31日までに取得見込を含む）</li> <li>・小学校の教諭普通免許状を所有し、12頁〔11〕加点申請⑥のいずれかの資格を取得</li> </ul> <p>※ 小学校英語専科担当を募集するものではありません。 学級担任及び英語（外国語活動）以外の教科も担当します。</p>
特別選考	<p>中学校・高等学校英語教育推進</p> <p>出願時点で、<b>実用英語技能検定（日本試験協会）1級</b>、<b>TOEFL（国際英文協会）PBT600点以上</b>、若しくは<b>同CBT250点以上</b>、<b>同iBT100点以上</b>、<b>TOEIC（国際ビジネスコミュニケーション協会）860点以上</b>の資格をいずれか取得している人</p>
	<p>社会人</p> <p>高等学校<b>数学、理科（物理、化学、生物）</b>を受験  <b>大学を卒業又は大学院を修了しており、研究施設、民間企業（教育事業を除く）、官公庁等（公立学校を除く）に、現に正規職員として3年以上の勤務経験を有する人</b>      高等学校<b>農業、工業（電気・情報）、商業</b>を受験  <b>受験する教科に関わる3年以上の実務経験を有する人</b>  <b>特別支援学校の自立活動（肢体不自由教育）</b>を受験  <b>看護師の免許を取得後、3年以上の実務経験を有する人</b>      ※ <b>勤務・実務経験は、平成30年3月31日までの常勤が対象です。</b></p>
	<p>大学院・教職大学院</p> <p><b>平成29・30年度奈良県教員採用候補者選考試験合格者で、大学院・教職大学院特別選考受験承認書を受取り、平成30年度末に専修免許状を取得見込の人</b></p>

### 〔3〕選考種別及び試験内容

選考種別	第1次試験				第2次試験				
	一般教養 100点	教科専門 200点	実技試験 -	集団面接 (個別) 100点	集団面接 (討議) 100点	実技試験 小 50点 中高100点	個人面接 (模擬授業) 200点		
		150点	50点						
一般選考	小学校	○	○	-	○	○	○		
	小学校以外	実技なし	○	○	-	○	-	○	
		実技あり	○	○	○	○	○	○	
実習助手	○	-	-	○	○	-	○ (模擬授業なし)		
特別選考	教職経験	小学校	免除	○	-	免除	○	○	
		小学校以外 実技なし		○	-		○	-	○
		小学校以外 実技あり		○	○		○	○	○
	小学校英語	○	○	-	○	○	○		
	中高英語	○	免除	-	○	○	-	○	
	社会人	個人面接に替える	○	-	○	○	-	○	
大学院	免除				○	免除	○		

※ 実技試験あり：中学校音楽・美術・保健体育、高等学校音楽・美術・書道・保健体育  
 実技試験なし：上記以外の校種等・教科等

※ 小学校の教科専門試験は、国語・社会・算数・理科、英語の合計200点

※ 個人面接での模擬授業（実習助手以外）で、小学校英語教育推進特別選考受験者は英語の模擬授業が課されます。

## 〔4〕出願手続について

### 1 ◆◆◆ 申込期間 ◆◆◆

平成30年5月9日(水) 9:00から平成30年5月25日(金)17:00まで

- ※ 申込締切直前は回線が大変混雑します。また、システム管理等のため一時的に利用できない場合がありますので、余裕をもって申し込んでください。
- ※ 使用されるパソコンや通信回線上の障害等が発生した場合のトラブルについては、一切責任を負いません。

### 2 ◆◆◆ 出願方法 ◆◆◆

電子申請（インターネット）でのみ受け付けます。

- ※ 郵送及び持参による受付は行いません。ただし、やむを得ない場合には、12頁に記載の問い合わせ先まで連絡してください。

準 備	<p>① <b>利用環境の確認</b> インターネットと電子メールを利用できるパソコンが必要となります。また、受験票・写真票を印刷するためのプリンタが必要となります。 ※ 携帯電話・スマートフォン等による申し込みは、メールの受け取りや印刷における不具合により出願できない場合がありますので、ご注意ください。 また、プリンタをお持ちでない人は、コンビニエンスストアのプリントサービスを利用するなど、各自での対応をお願いします。</p>								
申込手順	<p><b>【受験申込】</b></p> <p>② <b>奈良県ホームページ 「電子自治体」 e 古都なら（電子申請）への接続</b> <a href="http://www.pref.nara.jp/">http://www.pref.nara.jp/</a></p> <p>③ <b>手続き名で「教員採用」を選択</b> 利用者登録をされた人：利用者IDとパスワードを入力してログイン 利用者登録をしない人：「利用者登録せずに申し込む方はこちら」をクリック ↓ 「利用規約」を必ず読み、「同意」して進んでください。</p> <p>④ <b>連絡先メールアドレスを入力し、「完了する」をクリック</b></p> <p>⑤ <b>連絡先メールアドレスに返信される申込画面のURLをクリック</b> ※ 迷惑メール対策等を行っている場合は、「pref-nara@s-kantan.com」からのメール受信が可能な設定に変更してください。</p> <p>⑥ <b>必要事項を入力後、「確認へ進む」をクリック</b> <b>申込内容を確認の上、「申し込む」をクリック</b> ※ 申込内容については、画面を印刷するなど、出願後に確認できるようにしてください。 ※ 障害等、事情により、受験に際して配慮を希望する人は、「受験上の配慮希望事項欄」に希望内容を入力してください。</p> <p>⑦ <b>受験申込完了</b> 「申請完了」画面（整理番号とパスワードが表示される画面）で、「一覧へ戻る」をクリック ※ 申込完了時には、「申込完了通知」メールが返信されます。<b>整理番号とパスワードは受験票をプリントアウトするときに必要</b>となりますので、<b>必ず控えをとっておいてください。</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">利用者ID</td> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 25%;">パスワード</td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td>整理番号</td> <td></td> <td>パスワード</td> <td></td> </tr> </table>	利用者ID		パスワード		整理番号		パスワード	
利用者ID		パスワード							
整理番号		パスワード							

**【必要書類の送付】**

次の選考区分及び要件に該当する人は、**電子申請（インターネット）**で出願した上で、**速やかに必要な提出書類を簡易書留で郵送**してください。書類が確認できない場合、受験票・写真票を送信することができませんので、注意してください。

<郵送先> 〒630-8502 奈良県教育委員会事務局教職員課人事企画係（住所不要）

※ 封筒の表面に「出願関係書類在中」と朱書きする。

選考区分	要件	提出書類
一般選考	生年月日が昭和43年4月2日～昭和54年4月1日で、 <b>国立及び奈良県以外の公立学校の教諭、私立学校の正規教員</b>	<b>在職証明書</b> A4判 様式自由 職名・在職期間が明記されたもの
教職経験特別選考	<b>国立及び奈良県以外の公立学校の現職教諭、私立学校の正規の現職教員</b>	
中高英語特別選考		英語資格に係る実施団体が発行する証明書のコピー
社会人特別選考		<b>自己推薦文</b> （A4判） 様式自由 <b>2000字以内</b>
大学院特別選考		<b>大学院・教職大学院特別選考受験承認書</b>

**【受験票・写真票の交付】**

⑧ **連絡先メールアドレスに受験票・写真票を添付したメールを送信**

6月4日（月）送信予定

※ 6月11日（月）までに届かない場合は、12頁に記載の問い合わせ先まで連絡してください。

⑨ **整理番号とパスワードを入力し、受験票・写真票をダウンロードし、印刷**

**【写真票の郵送】**

⑩ **写真を貼り付けた写真票を6月15日（金）必着で教職員課宛てに書留郵便で郵送**

※ 写真は、申込日前3か月以内に撮影した「縦4～4.5cm、横3～3.5cm、上半身、脱帽、正面向き」のものに限ります。また、写真の裏面に、氏名、受験校種等・教科等を記載してください。

※ **受験票にも、写真票に貼り付けた写真と同じものを貼り、第1次試験当日に持参**してください。

**3 ◆◆◆ 出願手続きの際の注意事項 ◆◆◆**

- (1) 出願内容等の取り扱い  
出願受付段階では、個々のすべての受験資格要件を確認することはできません。受験資格要件を満たしていないことや、虚偽の記載があることが後日判明した時点で失格となりますので、各自で十分確認し、出願してください。
- (2) 出願内容に対する確認  
出願内容について確認したいことがある場合には、**奈良県教育委員会事務局教職員課（0742-27-9844）**より電話で連絡する場合があります。特に**携帯電話などで着信拒否設定がされている場合には、連絡が受け取れるように設定**してください。  
連絡が取れない場合や指定する期日までに修正に応じない場合等には、理由の如何を問わず、出願が無かったものとして取り扱う場合があります。
- (3) 重複出願  
同一人物から複数の出願が行われた場合（**重複出願**）は、出願の全てを無効とします。いずれの出願についても一切受理しません。ただし、出願期間内（平成30年5月25日17:00まで）であれば、出願を取り下げることが可能です。申請画面から不要な出願は取り下げてください。もし、取り下げの処理ができない場合は、12頁に記載の連絡先まで連絡してください。出願期間締切後は、理由の如何を問わず、出願を取り下げることができません。
- (4) 受験が認められない場合でも、提出された書類は返却しません。

## 〔5〕試験日程及び内容等

### 1 ◆◆◆ 第1次試験について ◆◆◆

#### 1 試験日程について

		一般選考			教職特別選考			小英語特別選考	中高英語特別選考	社会人特別選考	配点
		実習助手	小学校 中高(実技無) 特別支援学校 養護教諭 栄養教諭	中高 (実技有)	小学校 中高(実技無) 特別支援学校 養護教諭 栄養教諭	中高 (実技有)					
第1次試験	6月30日(土) 集合8:50 試験開始9:15	午前	一般教養 <マークシート>	一般教養 <マークシート>	一般教養 <マークシート>			一般教養 <マークシート>	一般教養 <マークシート>	個人面接	100点
				教科専門	教科専門	教科専門	教科専門	教科専門		教科専門	
	午後			実技試験		実技試験					50点
	7月14日(土)~16日(月) 面接日時	全日	集団面接(個別)					集団面接(個別)			100点

- 6月4日(月)11:00頃に、教職員課ホームページで、試験会場(県立高等学校)及び各校種等、教科等の**集団面接日等**をお知らせする予定です。
- 各受験者の具体的な集団面接の日時は、7月9日(月)11:00頃に教職員課ホームページでお知らせする予定です。

#### 2 試験内容について

試験内容	実施方法	出題内容等
一般教養	マークシート	教職教養と時事問題を出题し、マークシートで解答します。
教科専門	筆記	小学校と、中学校及び高等学校の国語、社会、数学、理科、外国語(英語)、音楽、保健体育では、マークシートで解答する問題があります。 小学校の英語、中学校及び高等学校の外国語(英語)は、リスニング問題を含みます。 高等学校地理歴史及び理科は、全ての領域の内容を出题範囲とする共通問題(全員解答)と選択問題(2領域を選択し、それぞれ解答)を出题します。 ※ 選択問題…地理歴史は世界史、日本史、地理から2領域を選択する。 理科は出題時に選択した領域を含め、物理、化学、生物から2領域を選択する。
集団面接(個別)		中学校及び高等学校外国語(英語)受験者は、 <b>英語による質問</b> があります。

#### 3 実技試験について

校種等	教科等	課題及び持参物等
中学校 高等学校	音楽	《ピアノによる弾き歌い》 下記の①～③のうち、当日指示する曲にピアノ伴奏を付けて主旋律を歌唱します。 ※ 楽譜を持参し、見てもかまいません。 ※ 調及び使用する伴奏譜については、特に指定しません。  【中学校】 ① 「赤とんぼ」 三木露風 作詞/ 山田耕筰 作曲 ② 「荒城の月」 土井晩翠 作詞/ 滝廉太郎 作曲 ③ 「早春賦」 吉丸一昌 作詞/ 中田 章 作曲  【高等学校】 ① 「Caro mio ben」 Giordani 作曲 ② 「An die Musik」 Schubert 作曲 ③ 「この道」 北原白秋 作詞/ 山田耕筰 作曲

中学校 高等学校	美術	《鉛筆による素描》 素描に使用する用具、画板を持参してください。
高等学校	書道	書道用具を持参してください。
中学校 高等学校	保健体育	器械運動（マット運動）、陸上競技（ハードル走） ※ 運動着、体育館用運動靴を持参してください。

#### 4 第1次試験受験当日の持参物について

- (1) 受験票
- (2) 結果通知用封筒 **1通**（長3：12.0cm×23.5cmの定形のり付き封筒に**92円**切手を貼り、**宛先**（受験者住所及び氏名）を記入、封筒表面**右下**に**受験番号**を記入したもの）
- (3) 加点申請をした人は、申請に必要な書類のコピー（それぞれの書類の右下に受験番号を記入）
- (4) 筆記用具（鉛筆等）、消しゴム、上履き、靴入れ、実技試験に必要なもの  
※ 一般教養試験のほか、教科専門試験においてもマークシート形式で解答する場合があります。

## 2 ◆◆◆ 第2次試験について ◆◆◆

### 1 試験日程について

		小学校	小英語 特別選考	小学校 配点	中学校 高等学校 <b>(実技無)</b>	中学校・高等学校 <b>(実技有)</b>	特別支援学校 養護教諭 栄養教諭	小学校 以外配点	実習 助手	実習助手 配点
					右記以外の教科	中：音楽・美術・ 保健体育 高：音楽・美術・ 書道・保健体育				
第 2 次 試 験	8月 11日(土)	実技試験 音楽・体育		50点						
	12日(日)					実技試験		100点		
	13日(月)	集団面接（討議）		100点	集団面接（討議）			100点	集団面接 (討議)	100点
	15日(水) ～ 19日(日) <b>連続2日</b>	個人面接 (模擬授業 を含む)	個人面接 (英語の模擬 授業を含む)	200点	個人面接 (模擬授業を含む)			200点	個人 面接	200点

- 模擬授業の課題は、7月19日(木)11:00頃に教職員課ホームページでお知らせする予定です。
- 上記以外の第2次試験に関わる内容（試験会場〈県立高等学校〉、実技試験の班編制及び集団・個人面接の日時等）は、8月6日(月)11:00頃に教職員課ホームページでお知らせする予定です。

### 2 実技試験について

校種等	教科等	課題及び持参物等
小学校	音楽	<p>《歌唱》下記の①～③のうち、当日指示する曲（楽譜は試験場に用意）を無伴奏で歌唱します。</p> <p>① 「茶つみ」 文部省唱歌 ② 「さくらさくら」 日本古謡 ③ 「もみじ」 高野辰之 作詞／岡野貞一 作曲 文部省唱歌</p> <p>《器楽演奏》ピアノ、ソプラノリコーダー、鍵盤ハーモニカの中から各自選択し、任意の曲を演奏します。 ※ 楽譜を持参し、見てもかまいません。 ※ ピアノ以外の楽器は各自持参してください。</p>

小学校	体 育	器械運動（マット運動）、水泳（クロール）、 ボール運動（ゴール型）及び走・跳の運動（小型ハードル走等） ※ 運動着、水泳着及び体育館用運動靴を持参してください。 ※ 荒天により水泳ができない場合は、体づくり運動（多様な動きをつくる運動）を実施します。
中学校 高等学校	音 楽	《任意の箏曲を暗譜で演奏》 箏の調弦（13弦平調子を基本とする）をし、任意の箏曲を1曲暗譜して演奏します。（10分以内） ※ 爪は各自持参してください（流派は問いません）。 ※ 調子笛等の持ち込みは禁止します（ピアノで最初の音をとつても構いません）。  《ピアノによる弾き歌い》 当日指示する曲にピアノ伴奏を付けて歌唱します。
	美 術	《水彩による表現》 水彩画に使用する用具、画板を持参してください。画架の持参は自由です。
高等学校	書 道	書道用具を持参してください。
中学校 高等学校	保健体育	武道（柔道又は剣道を選択）、水泳（背泳ぎ、平泳ぎ、クロール）、 球技（ゴール型：バスケットボール）、ダンス（現代的なリズムのダンス） ※ 運動着、水泳着及び体育館用運動靴を持参してください。 ※ 荒天により水泳ができない場合は、球技（ネット型：バレーボール）を実施します。

## 〔6〕 受験時の注意事項

- (1) **試験場への自動車、二輪車、自転車の乗り入れ及び周辺道路上、コンビニ等周辺施設への駐車は厳禁**です。また、自動車やタクシーでの送迎も禁止します。
- (2) 障害があり、試験会場への自動車等の乗り入れや受験に際して配慮を希望する人は、「受験上の配慮希望事項欄」に具体的に記入してください（記入した内容により、第1次試験終了後に個人面接を実施する場合があります。実施の有無は後日連絡します）。
- (3) 試験を欠席した時点で辞退として取り扱いますので、連絡は不要です。筆記試験においては**試験開始後20分までに試験会場に入室しなかった場合、面接においては集合時刻に集合場所にいない場合は、欠席とみなします。**
- (4) 受験者が試験日時の希望や変更をすることはできません。また、受験すべき試験等を一つでも受験しなかった場合は、その後に実施する試験等を受験することはできません。
- (5) 試験会場への電話等で問い合わせについては、一切受け付けることができません。
- (6) 不正行為があった場合は、受験することができません。
- (7) 試験場の敷地内においては、ICレコーダーやスマートフォン、携帯電話、タブレット端末等、録音・録画・通信・通話のできる電子機器の使用を禁止します。また、電卓等の計算機やスマートウォッチ、計算機能のついた時計の使用はできません。試験中に身につけていた場合には、失格となる不正行為とみなし、以後の試験を受験することはできません。
- (8) 試験会場敷地内は禁煙です。
- (9) 暑さ対策のため、**上着・ネクタイの着用は特に必要ありません。**
- (10) **今後のお知らせは、奈良県教育委員会事務局教職員課ホームページに掲載**しますので、注意深く確認してください。ホームページアドレス (<http://www.pref.nara.jp/1695.htm>)
- (11) 台風などの非常災害時にやむを得ず選考日程等を変更する場合は、奈良県教育委員会事務局教職員課のホームページでお知らせします。ホームページを確認の上、対応してください。



## 〔7〕選考方法及び結果発表について

### 1 選考方法

選考種別	選考方法		留意点	
	第1次試験	第2次試験		
一般選考	全ての試験及び加点の合計点を基に総合的に判定します。		各試験には、それぞれ合格基準があり、基準に達しない場合は不合格となります。したがって、合計得点が上位であっても不合格となる場合があります。	
特別選考	小学校英語	受験した試験の合計得点を基に総合的に判定します。		
	教職経験			教科専門試験（実技試験の点数を含む）における点数が同校種等・教科等一般選考受験者の合格最低点以上の場合、合格とします。
	中高英語			一般教養試験及び集団面接試験における各点数が、同校種等・教科等一般選考受験者の合格最低点以上の場合、合格とします。
	社会人			教科専門試験及び集団面接試験における各点数が同校種等・教科等一般選考受験者の合格最低点以上で、個人面接試験の点数が基準点以上の場合、合格とします。
大学院		集団面接（討議）及び個人面接（模擬授業を含む）を行い再度判定します。		

2 第1次試験の結果は8月1日(木)、第2次試験の結果は9月14日(金)、どちらも10:00頃に奈良県庁正面掲示場に掲示するとともに、11:00頃に教職員課ホームページに掲載し、また、それぞれ本人宛にも通知します。ただし、電話等での問い合わせに応じることはできません。

### 3 合格後の手続き

社会人を対象とした特別選考者で第2次試験に合格した場合は、**在職・勤務証明書等**（A4判、様式自由）を提出してください。また、特別免許状の授受を受けることが必要です。

4 合格通知後であっても、第1次試験及び第2次試験で不正が発覚した場合、合格を取り消します。

## 〔8〕名簿登載及び採用についての注意事項

- (1) 合格者は、奈良県教育委員会の指定する健康診断書を提出し、適当と認められないときは採用されない場合があります。
- (2) 適当と判断された人は、奈良県公立学校教員採用候補者名簿に1年間登載され、原則として平成31年4月1日に採用されます。
- (3) 採用とは、地方公務員法第22条に基づく条件附採用であり、教員として1年間（養護教諭及び栄養教諭、実習助手は6月間）を勤務し、その間、職務を良好な成績で遂行したときに初めて正式採用となります。
- (4) 名簿登載期間中に、次の事項に該当する場合は、名簿から削除します。
  - ・3頁〔2〕受験資格の要件を満たさないことが判明した場合
  - ・履歴に虚偽の記載があったり、教員としてふさわしくない事実が明らかになった場合

## 【9】大学院在学・進学者に対する特例

専修免許状を取得できる大学院修士課程又は教職大学院（以下「大学院等」という。）に、平成30年度に修学中の人は1年間、平成31年度に修学する人は2年間、名簿登載期間を延長します。

ただし、名簿登載期間の延長には、次の条件を満たす必要があります。

- (1) 平成31年度奈良県公立学校教員採用候補者選考試験に合格後、**平成30年12月26日（水）**（当日消印有効）までに、次の書類を奈良県教育委員会事務局教職員課へ郵送すること。
  - ・採用猶予申請書（合格発表後に教職員課ホームページに掲載）
  - ・大学院等に修学している（する）ことを証明する書類
- (2) 猶予期間終了までに、大学院修士課程を修了すること。
- (3) 猶予期間終了までに、平成31年度奈良県公立学校教員採用候補者選考試験で合格した校種等・教科等の専修免許状を取得すること。

## 【10】試験結果の開示及び過去の試験問題の閲覧等

### 1 試験結果の開示

試験の結果（総合得点・順位及び各試験の得点）について、奈良県個人情報保護条例に基づき、口頭による開示を請求することができます。受験者本人以外からの請求、電話やはがきによる請求では開示できません。

請求できる人	開示内容	開示期間	時間	持参物	開示場所
第1次選考 不合格者	各試験の点数 総合得点 順位	第1次試験 結果発表日 から1か月間	開庁日の 午前9時から 午後5時まで 〔結果発表日は 午前10時15分から〕	○ 受験票 ○ 本人を証明で きるもの（運転 免許証・健康保 険証・学生証な ど）	奈良県教育委員会 事務局教職員課 （奈良県庁東棟2階）  奈良市登大路町30 電話0742-27-9844
第2次選考 受験者	各試験の点数 総合得点 順位	第2次試験 結果発表日 から1か月間			

### 2 過去の試験問題の閲覧等

平成26年度から平成30年度の第1次選考筆記試験（一般教養試験、教科専門試験）の問題及び解答、第2次選考面接試験（集団面接討議テーマ、模擬授業課題）は、奈良県庁東棟1階県政情報センター（0742-27-8348）で閲覧及びコピー（有料：1枚10円）することができます。

利用時間は、土・日・祝日及び年末年始の休日を除く開庁日の午前9時から午後5時までです。

※ なお、著作権許諾の関係で、一部閲覧できない箇所があります。

## 〔11〕 加点申請

- 1 次の①～⑦に該当する人については、「**加点申請**」することにより**第1次試験に限り加点**します。  
ただし、第1次試験が一部免除となる特別選考を受験する場合には、加点はありません。

※ ①～⑤に限り平成31年3月31日までに取得見込みの人を含みます。

校種等（教科等）	選考種別	加点対象となる内容	加点得点	提出物
① 小学校	一般選考	小学校及び中学校教諭普通免許状を共に所有	6点	願書の加点申請欄で申請した免許状等のコピー  小学校教諭普通免許状 中学校教諭普通免許状 高等学校教諭普通免許状 司書教諭講習修了証書
	小英語特別選考	小学校及び <b>英語以外</b> の中学校教諭普通免許状を共に所有 又は 小学校及び <b>英語</b> の中学校教諭普通免許状を共に所有	6点 又は 10点	
② 中学校	一般選考	次のいずれかに該当 ・小学校及び中学校教諭普通免許状を共に所有 ・「音楽」「美術」「技術」「家庭」を含む中学校教諭普通免許状を複数所有	6点	
③ 中学校	一般選考	司書教諭の資格を所有	6点	
④ 高等学校	一般選考	受験する教科等の高等学校教諭普通免許状と「情報」の高等学校教諭普通免許状を共に所有	6点	
⑤ 高等学校（地理歴史）	一般選考	「地理歴史」と「公民」の高等学校教諭普通免許状を共に所有	6点	
⑥ 小学校  中学校（英語） 高等学校（英語）	一般選考	次のいずれかの資格を取得 ・ <b>実用英語技能検定</b> （日本英語検定協会） <b>準1級</b> 以上 ・ <b>TOEFL</b> （国際英語検定協会） <b>PBT550点</b> 以上 ・ <b>CBT213点</b> 以上 ・ <b>iBT 80点</b> 以上 ・ <b>TOEIC</b> （国際ビジネスコミュニケーション協会） <b>730点</b> 以上（公開テストに限る）	6点	
	小英語特別選考		10点	
⑦ 全校種等 教科等	一般選考 小英語特別選考	次のいずれかの資格を所有 臨床心理士、社会福祉士、精神保健福祉士	6点	資格証明書のコピー

- 2 加点申請する場合は、出願時、「加点申請」欄の該当項目で「申請する」を選択してください。  
3 加点申請した人は、上記の**提出物を6月30日（土）に試験会場に持参**してください。  
4 ①～⑤を取得見込みで採用試験に合格した人は、取得後に必ず免許状等のコピーを奈良県教育委員会事務局教職員課まで持参してください。

**提出しない場合、又は、取得見込みで受験し平成31年3月31日までに取得できなかった場合、加点が無効となり、採用内定を取り消すことがあります。**

<問い合わせ先>

奈良県教育委員会事務局教職員課人事企画係

TEL 0742-27-9844（直通）

各市町村教委教育長 }  
各 小 学 校 長 } 殿

奈良県教育委員会教育長

## 「1日こども知事」の募集について（通知）

このことについて、下記のとおり「1日こども知事」の募集を行いますので、応募についてよろしくをお願いします。

### 記

#### 1 目 的

県庁などで行っている公の仕事に興味をもっている児童や、将来知事や市町村長になりたいという児童に、奈良県政に対する興味や奈良に対する愛着を深めてもらうとともに、次代を担う児童の純粋な夢を育む。

#### 2 主 催

奈良県、奈良県教育委員会

#### 3 実施日時

平成30年8月3日（金） 9：50～14：30

#### 4 実施場所

奈良県庁 奈良市登大路町30番地

#### 5 募集対象及び人数

県内に在学する小学5・6年生 10名程度

#### 6 日 程

9：50～10：20 オリエンテーション  
10：20～10：35 「1日こども知事」任命書交付  
10：35～11：20 就任挨拶  
11：20～12：10 模擬記者会見  
12：10～13：00 荒井知事と昼食・会談

13：10～14：20 執務体験

14：20～14：30 記念撮影・記念品贈呈

## 7 応募について

### (1) 応募方法

「知事になったら、こうしたい」をテーマにした作文（原稿用紙400字程度）を作成し、小学校名、学年、氏名を記入の上、学校を通じて奈良県総務部知事公室政策推進課まで持参又は郵送すること。

### (2) 募集締切

平成30年6月8日（金）必着

### (3) 選考方法

応募者が募集人数を超えた場合は、選考を実施する。その場合、文章の表現力等ではなくアイデアにより選考する。

### (4) 結果通知

学校を通じて通知（7月上旬予定）する。その際、応募作文は返却する。

## 8 問合せ先、応募先

〒630-8501 奈良市登大路町30番地

奈良県総務部知事公室政策推進課 政策推進係（担当：岸本）

TEL 0742-27-8472

## 9 その他

実施当日は、教員又は保護者の方の同伴が必要。ただし、会場の都合上、同伴は2名までとする。

各市町村教委教育長  
各小・中学校長  
各中等教育学校長  
各特別支援学校長

} 殿

奈良県教育委員会教育長

## 平成30年度第1学期奈良県算数数学教育研究発表会 の開催について（通知）

このことについて、下記のとおり開催しますので、関係教員の参加についてよろしくお願ひします。

### 記

#### 1 趣 旨

学習指導要領のねらいの一層の実現を図るため、算数・数学教育の指導内容や指導方法についての研修を深め、指導力の向上に資する。

#### 2 主 催

奈良県教育委員会、奈良県算数数学教育研究会

#### 3 期日及び会場

平成30年6月28日（木）

県立教育研究所 磯城郡田原本町秦庄22-1

#### 4 参加対象者

県内小学校、中学校、中等教育学校前期課程及び特別支援学校小・中学部の教員

#### 5 日 程

##### （1）小学校部会

13：15～13：30 開会行事

13：30～14：40 研究発表

14：50～15：55 平成29年度算数テストの結果と考察及び指導事例報告

15:55～16:00 閉会行事

(2) 中学校部会

13:15～13:30 開会行事

13:30～15:55 研究発表

15:55～16:00 閉会行事

6 内 容

(1) 小学校部会

ア 研究発表

研究内容及び発表者	指導助言者
○「深い学びの実現を目指した授業づくりー説明する力を伸ばすー」 広陵町立真美ヶ丘第二小学校 今西 健 田原本町立田原本小学校 後藤 弘	奈良教育大学 准教授 舟橋 友香
○「算数科における思考と表現の評価」 奈良市立都跡小学校 長浜 佐知子	

イ 平成29年度算数テストの結果と考察及び指導事例報告

報 告 者	指導助言者
<低学年部会> 1年生 山添村立やまぞえ小学校 山岸 玲子 2年生 葛城市立新庄北小学校 高野 真彦	生駒市立生駒台小学校 校長 生駒 有喜子
<中学年部会> 3年生 奈良市立平城小学校 竹内 直樹 4年生 奈良市立飛鳥小学校 平野 健太	
<高学年部会> 5年生 五條市立阪合部小学校 山口 泰次郎 6年生 安堵町立安堵小学校 梶原 慶祐	奈良教育大学 准教授 舟橋 友香

(2) 中学校部会

研究発表

研究内容及び発表者	指導助言者
○「ICT活用による効果的な授業づくり」 大和郡山市立片桐中学校 河原 良太 ○「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業実践」 葛城市立新庄中学校 山本 洋介	県教育委員会事務局 学校教育課 指導主事 北村 貴之

7 参加申込み

平成30年4月5日付け週報第2291号掲載の参加基本様式により、職名、氏名を記入の上、平成30年6月11日(月)までに下記宛てFAXで申し込むこと。

大和高田市立磐園小学校 教諭 菊谷 勝哉

FAX 0745-22-0552

なお、小学校部会の参加者は、平成29年度会誌を持参すること。



教 学 第 1 3 7 号

平成30年5月10日

各市町村教委教育長 }  
各 学 校 長 } 殿

奈良県教育委員会教育長

### 平成30年度における教科書展示会の開催について（通知）

このことについて、別表の教科書センター及び教科書センター分館において、平成30年6月15日（金）から7月13日（金）までの間実施しますので、関係者にお知らせくださるとともに、教科書研究についてよろしく申し上げます。

(別表)

## 奈良県教科書センター一覧表

(30.4.1)

地区	名 称 (利用施設名)	所 在 地 電話番号	教科書の種類
第1	奈良教科書センター (奈良市教育センター)	奈良市三条本町13-1 0742-36-0401	小・中・特
第2	大和郡山教科書センター (大和郡山市立図書館)	大和郡山市北郡山町211-3 0743-55-6600	小・中
第3	生駒市教科書センター (生駒市図書館)	生駒市辻町238 0743-75-5303	小・中
第4	生駒郡教科書センター (三郷町立図書館)	生駒郡三郷町勢野西1-4-4 0745-33-3030	小・中
第5	天理教科書センター (天理市教育総合センター)	天理市勾田町109-1 0743-63-0316	小・中
第6	山辺教科書センター (山添村立やまぞえ小学校)	山辺郡山添村春日1770-1 0743-85-0200	小・中
第7	宇陀市教科書センター (宇陀市立中央図書館)	宇陀市榛原萩原2610-1 0745-82-4749	小・中
第8	宇陀郡教科書センター (曾爾村教育委員会事務局)	宇陀郡曾爾村大字今井495-1 0745-94-2104	小・中
第9	橿原教科書センター (橿原市立図書館)	橿原市小房町11-5 0744-29-2121	小・中
第10	桜井教科書センター (桜井市立図書館)	桜井市河西31 0744-44-2600	小・中
第11	奈良県中央教科書センター (県立教育研究所)	磯城郡田原本町秦庄22-1 0744-33-8900	小・中・高 ・特
	磯城・高市郡教科書センター (川西町教育委員会事務局)	磯城郡川西町結崎32-1 0745-44-2684	小・中
第12	大和高田教科書センター (大和高田市立図書館)	大和高田市西町1-45 0745-52-3424	小・中
第13	五條教科書センター (五條市立図書館)	五條市本町1-1-5 0747-22-4133	小・中
第14	御所教科書センター (御所市立図書館)	御所市13 0745-65-2580	小・中
第15	香芝教科書センター (香芝市民図書館)	香芝市藤山1-17-17 0745-77-1600	小・中
第16	葛城教科書センター (葛城市立新庄図書館)	葛城市南藤井70-1 0745-69-4646	小・中
第17	北葛城教科書センター (上牧町役場庁舎)	北葛城郡上牧町上牧3350 0745-76-1001	小・中
第18	吉野教科書センター (吉野町立吉野小学校)	吉野郡吉野町上市2298 0746-32-4333	小・中
	吉野教科書センター川上分館 (川上村立川上中学校)	吉野郡川上村人知270 0746-52-0014	小・中
	吉野教科書センター十津川分館 (十津川村立十津川第一小学校)	吉野郡十津川村小原707 0746-62-0034	小・中
	吉野教科書センター下北山分館 (下北山村立下北山小学校)	吉野郡下北山村寺垣内1002 07468-6-0304	小・中
	吉野教科書センター野迫川分館 (野迫川村山村振興センター)	吉野郡野迫川村北股97-2 0747-37-2101	小・中

各市町村教委教育長  
各中学校長  
各中等教育学校長  
各特別支援学校長

】 殿

奈良県教育委員会教育長

## 第40回「少年の主張」奈良県大会～わたしの主張2018～ の実施について（通知）

このことについて、下記のとおり実施しますので、発表原稿の応募及び発表大会への参加について、よろしくをお願いします。

### 記

#### 1 趣 旨

社会や国際的な環境が大きく変化する現代において、次代を担う子どもたちに、物事を論理的に考える力、自分の主張を正しく伝える力、広い視野と柔軟な発想・創造性などを身に付けさせるとともに、大人自身が子どもたちの声を真摯に受けとめる契機とする。

#### 2 主 催

奈良県、奈良県教育委員会、奈良県子ども・若者支援団体協議会  
独立行政法人国立青少年教育振興機構

#### 3 対 象

県内の中学生及びそれに相応する学籍又は年齢にある者  
(国籍は問わないが、日本語で発表できること。)

#### 4 発表原稿の募集

##### (1) 主張内容

次の①～③のいずれかの内容で、心からの思いや考えたこと、感銘を受けたことなどを、少年らしい自由でユニークな発想をもって飾り気のない言葉でまとめたもの。

① 社会や世界に向けての意見、未来への希望や提案など。

② 家庭、学校生活、社会（地域活動）、身の回りのことや友達との関わりなど。

③ テレビや新聞などで報道されている少年の問題行動、大人や社会の様々な出来事に対する意見や感想、提言など。

なお、商業的な固有名詞の使用は極力避けるようにすること。(悪い例：〇〇県にある〇〇旅館 良い例：〇〇県にある旅館)

## (2) 応募方法等

### ア 応募原稿

(ア) 縦書き、A4判400字詰原稿用紙4枚程度(1400字～1800字程度)とする。

(発表時間は1人5分程度とし、5分30秒未満の発表になるよう留意すること。)

(イ) 原稿は本人の自筆(HBより濃い鉛筆を使用)に限る。自筆によることが困難な場合は、この限りでない。

(ウ) 原稿の1行目にタイトル、2行目に学校名及び学年、3行目に氏名を書くこと。

(エ) 別紙様式による応募票を作成し、原稿1枚目の上部にホチキスで留めること。

(オ) 応募は、1人1点とし、未発表のものに限る。

(カ) 各学年の応募は、20名以内とする。

(キ) 応募原稿は返却しない。

### イ 応募期間

平成30年6月1日(金)～平成30年7月18日(水)必着

### ウ 応募方法

応募原稿は、個人又は学校・団体で取りまとめの上、下記宛てに送付すること。なお、学校・団体で応募する際には、別紙応募取りまとめ票に記入すること。

〒630-8501 奈良市登大路町30

奈良県くらし創造部青少年・社会活動推進課内 「少年の主張」係

TEL 0742-27-8615

## 5 原稿審査及び発表者の決定

(1) 別に定める審査要領により原稿審査を行い、10点の入賞作品(発表作品)を選定し、発表者を決定する。

(2) 発表者には、後日、学校を通じ本人宛てに通知する。

## 6 発表大会

(1) 日時 平成30年9月9日(日)午後1時30分～午後4時20分

(2) 会場 生駒市コミュニティセンター 文化ホール(生駒市元町1-6-12)

(3) 内容 入賞者による発表、表彰等

(4) 全国大会への推薦

発表作品のうち最優秀賞1点を選定し、平成30年11月11日(日)東京で開催の「少年の主張全国大会」発表候補作品として推薦する。

この部分をホチキスで原稿用紙にとめてください。

第四十回「少年の主張」奈良県大会  
くわたしの主張2018く  
応募票

応募原稿のタイトル

応募者氏名

ふりがな

学校名（団体名）

学 年	性 別
年	男 ・ 女

\*応募票の用紙は、A4サイズでお願いします。  
(この用紙をコピーして御利用ください。)

# 第40回「少年の主張」奈良県大会～わたしの主張2018～

## 応募取りまとめ票

学校名（団体名）： \_\_\_\_\_

	応募生徒数 (各学年20名以内)	取り組んだ 生徒数
3年生	名	名
2年生	名	名
1年生	名	名
合計	名	名

御担当者氏名： \_\_\_\_\_

TEL： \_\_\_\_\_

FAX： \_\_\_\_\_

※応募取りまとめ票は、必要事項を記入の上、原稿とともに青少年・社会活動推進課宛てに提出願います。

※学校又は団体で選考した後に応募する場合は、取り組んだ生徒数を「取り組んだ生徒数」の欄に記入願います。

※本大会又は応募に関する連絡及び問合せは、担当者様宛てにいたします。

各市町村教委教育長  
各 中 学 校 長  
各 中 等 教 育 学 校 長  
各 特 別 支 援 学 校 長

} 殿

奈良県教育委員会教育長

平成30年度奈良県中学校理科教育研究会  
研究総会の開催について（通知）

このことについて、下記のとおり開催しますので、関係教員の参加についてよろしくお願ひします。

記

1 趣 旨

生徒が主体的に取り組む学習を目指した授業の研究及び研究発表を通して、教員の指導力の向上を図り、併せて理科教育の振興・充実に役立てる。

2 主 催

奈良県教育委員会、奈良県中学校理科教育研究会

3 期日及び会場

平成30年6月7日（木）

奈良市立平城西中学校

4 参加対象者

県内中学校、中等教育学校前期課程及び特別支援学校中学部の教員

5 日 程

12:00～12:10 日程説明

12:15～13:25 総会

13:35～14:25 公開授業

14:35～15:05 ブロック別研究協議

15:15～15:50 研究協議

16:00～16:20 指導助言とまとめ

16:20～16:30 閉会行事

## 6 内容

### (1) 公開授業

学 年	単 元 名	指 導 者
第1学年	植物のくらしとなかま	手操 一成
第2学年	動物の生活と生物の進化	木根 弘次

### (2) 研究協議

協議題 中学校における理科教育について

～奈良県公立高等学校入学者選抜学力検査問題の考察から～

### (3) 指導助言者

奈良教育大学 教授 森本 弘一

県教育委員会事務局学校教育課 指導主事 真井 克子

県教育委員会事務局学校教育課 指導主事 富倉 勇

## 7 参加申込み

平成30年4月5日付け週報第2291号掲載の参加基本様式により、職名、氏名を記入の上、平成30年5月29日（火）までに下記宛てFAXで申し込むこと。

斑鳩町立斑鳩南中学校 教諭 太田 重浩

FAX 0745-74-5978



各市町村教委教育長  
各小・中学校長  
各中等教育学校長  
各特別支援学校長

} 殿

奈良県教育委員会教育長

平成30年度奈良県図画工作・美術教育研究会  
総会の開催について（通知）

このことについて、下記のとおり開催しますので、関係職員の参加についてよろしくお願ひします。

記

1 趣 旨

図画工作・美術教育に関する指導についての理解を深め、今後の教育活動に役立て、図画工作・美術教育の一層の充実を図る。

2 主 催

奈良県教育委員会、奈良県図画工作・美術教育研究会

3 期日及び会場

平成30年6月1日（金）

奈良県文化会館 奈良市登大路町6-2

4 参加対象者

県内小学校、中学校、中等教育学校前期課程及び特別支援学校小・中学部の教員

5 日 程

13：30～14：15 総 会

14：20～15：00 実践発表

15：00～15：15 研究協議

15：20～16：30 講演

16:30～16:40 閉会行事

## 6 内 容

### (1) 実践発表

「アートデイー繋がりとコミュニケーションー」

奈良市立富雄南小学校 喜多 京司

「斑鳩を愛する子どもにー『ふるさとかるた』からの出発ー」

斑鳩町立斑鳩中学校 池端 倫子

### (2) 講 演

演題 「教育改革にどう向き合うかー美術教育における『遊び』をめぐる実践・  
研究からの示唆を踏まえてー」

講師 奈良教育大学 教授 宇田 秀士

## 7 参加申込み

平成30年4月5日付け週報2291号掲載の参加基本様式により、職名、氏名を記入の上、平成30年5月25日（金）までに下記宛てFAXで申し込むこと。

奈良市立京西中学校 教諭 久保 慶議

FAX 0742-45-9406

各市町村教委教育長 }  
各小学校校長 } 殿

奈良県教育委員会教育長

平成30年度第40回奈良県小学校生徒指導研究会総会  
並びに研究集会の開催について（通知）

このことについて、下記のとおり開催しますので、関係職員の参加についてよろしくお願ひします。

記

1 趣 旨

「豊かな人間性を育てる生徒指導はいかにあるべきか」を研究主題とし、全校体制で取り組む生徒指導の実践について情報交換・研究協議を行い、生徒指導の充実に役立てる。

2 主 催

奈良県教育委員会、奈良県小学校生徒指導研究会

3 日時及び会場

平成30年6月4日（月） 14：00～16：45

県立教育研究所 中講座室1 磯城郡田原本町秦庄22-1

4 参加対象者

県内小学校の校長、教頭、生徒指導担当者、学級担任等

5 日 程

14：00～14：20	開会行事
14：20～15：00	総会
15：00～16：00	研究発表・研究協議
16：00～16：30	指導助言とまとめ
16：30～16：45	閉会行事

6 研究発表

発表題 「全校体制で取り組む生徒指導」

発表者 奈良市立平城小学校 教諭 山本 博樹

7 指導助言

県教育委員会事務局生徒指導支援室 指導主事 中島 利絵

8 参加申込み・問合せ

参加に際し、申込みは特に必要ない。

問合せは下記担当まで。

大和郡山市立筒井小学校 教諭 岸田 誠治

TEL 0743-59-2087

各市町村教委教育長 }  
各公立学校（園）長 } 殿

奈良県教育委員会教育長

## スクールカウンセリングカウンセラーの派遣について（通知）

このことについて、下記のとおり実施しますので、関係者へ周知するとともに、活用についてよろしくをお願いします。

### 記

#### 1 趣 旨

教職員・保護者などに対し、不登校・いじめ等の悩みや問題について専門的な立場から指導・助言をするため、学校・教育委員会等の要請に応じて医師、大学教員、臨床心理士等を派遣する。

#### 2 派遣対象

県内の公立学校（園）

#### 3 実施内容

- (1) 事例研究会（ケース会議）及び研修会での指導・助言
- (2) 教職員に対する幼児児童生徒の不登校・いじめ対応等への支援・指導の在り方についての相談
- (3) 保護者に対する幼児児童生徒の不登校・いじめ対応等に関する相談

#### 4 派 遣

- (1) 派遣を希望する場合は、事前に県教育委員会事務局生徒指導支援室と日時についての連絡調整を行った上、市町村立学校（園）長は様式1により、県立学校長は様式2により、県教育委員会事務局生徒指導支援室長（以下「生徒指導支援室長」という。）宛てに要請すること。
- (2) 生徒指導支援室長は、派遣要請書に基づきスクールカウンセリングカウンセラーを派遣する。

5 実施場所

実施場所は、学校（園）又は市町村庁舎内に設置されている教育相談室、公民館等の公共施設とする。

6 実施報告

実施後、学校（園）長は生徒指導支援室長宛てに、実施状況について報告する。

7 派遣に要する経費

県教育委員会が負担する。

様式 1

(市町村立学校(園)用)

スクールカウンセリングカウンセラー派遣要請書

第 号  
平成 年 月 日

生徒指導支援室長 殿

学校(園)名  
校(園)長名

印

このことについて、下記のとおり派遣を要請します。

記

学校(園)名		派遣希望日	年 月 日 ( )		
派遣場所		学級担任氏名			
幼児児童生徒氏名		学 年		性 別	
相談概要	事例研究会、教職員との相談、保護者との相談 (○印を付けてください)				

第 号  
平成 年 月 日

奈良県教育委員会事務局  
生徒指導支援室長 殿

上記のとおり要請がありましたので申請します。

教育委員会名  
教育長名

印

スクールカウンセリングカウンセラー派遣要請書

平成 年 月 日  
第 号

生徒指導支援室長 殿

学校名  
校長名

このことについて、下記のとおり派遣を要請します。

記

学 校 名		派遣希望日	年 月 日 ( )		
派 遣 場 所		学級担任氏名			
児童生徒氏名		学 年		性 別	
相 談 概 要	事例研究会、教職員との相談、保護者との相談 (○印を付けてください)				



各市町村教委教育長 }  
各 学 校 長 } 殿

奈良県教育委員会教育長

## 平成30年度新任管理職アンガーマネージメント研修会 開催について（通知）

このことについて、下記のとおり開催しますので、関係者に周知されるとともに参加について  
よろしくをお願いします。

### 記

#### 1 目 的

教員の児童生徒に対する理解を深め、問題行動等に対する予防的視点に立った支援や、きめ  
細かな個別の支援を充実させるためにアンガーマネージメントの手法を活用して、学校全体と  
して統一された系統性のあるプログラムの構築と実践の推進を図る。また、学校全体でアプロ  
ーチを行うことで、全教員が適宜適切な指導と支援が行える体制の構築を目指す。

#### 2 日時及び対象

平成30年6月15日（金） 【午前の部】 10時00分～12時00分 新任校長

【午後の部】 14時00分～16時00分 新任教頭

#### 3 場 所

県立教育研究所 大講座室 磯城郡田原本町秦庄22-1

#### 4 参加者

県内小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の新任管理職

#### 5 日 程

##### 【午前の部】

9:30～10:00 受付

10:00～10:10 研修説明

10:10～12:00 研修  
「生徒指導におけるアンガーマネジメントの理解と実践  
について」

【午後の部】

13:30～14:00 受付  
14:00～14:10 研修説明  
14:10～16:00 研修  
「生徒指導におけるアンガーマネジメントの理解と実践  
について」

6 研修講師

滋賀刑務所 教育専門官 小西 好彦 氏

7 参加申込み

平成30年4月5日付け週報第2291号掲載の参加基本様式により、平成30年6月1日  
(金)までに下記宛てFAXで申し込むこと。

県教育委員会事務局生徒指導支援室 生徒指導係

TEL 0742-27-5435

FAX 0742-27-1021

各市町村教委教育長 }  
各 小 学 校 長 } 殿  
各 特 別 支 援 学 校 長 }

奈良県教育委員会教育長

## 平成30年度奈良県小学校体育研究会前期研究大会の 開催について（通知）

このことについて、下記のとおり開催しますので、関係教員の参加についてよろしくお願ひします。

### 記

#### 1 趣 旨

「豊かな『つながり』を大切にした、深い学びのある体育学習」を研究主題にすえ、小学校における体育教育の一層の充実を期するため、学校体育指導者としての資質の向上を図る。

#### 2 主 催

奈良県教育委員会、奈良県小学校体育研究会

#### 3 期 日

平成30年6月12日（火）

#### 4 会 場

生駒市立生駒小学校

#### 5 参加対象者

県内小学校及び特別支援学校小学部の教員

#### 6 日 程

14：00～14：45	公開授業
15：00～15：15	全体会
15：15～16：45	講演会

## 7 公開授業

学年	領域及び題材名	場 所	指導者
第2学年	ゲーム 「ボンバーゲーム」	運動場	松本 亜香里
第4学年	保健 「育ちゆく体とわたし」	理科室	瀧口 亮介
第6学年	ボール運動 「アルティメット」	体育館	伊勢木 崇宏

\*雨天時は、運動場での公開は中止する。

## 8 講 演

講師 大阪教育大学 准教授 井上 功一

演題 「体育の授業づくり ～新学習指導要領からの視点も含めて～」

## 9 参加申込み

平成30年4月5日付け週報第2291号掲載の参加基本様式により、職名、氏名、担当学年等（(A)項目欄）を記入の上、6月1日（金）までに下記宛て郵送又はFAXで申し込むこと。

〒635-0822 奈良県北葛城郡広陵町平尾542

広陵町立広陵西小学校内 大住 奈美

TEL 0745-55-2388

FAX 0745-55-6838

各市町村教委教育長 }  
各学校（園）長 } 殿

奈良県教育委員会教育長

平成30年度文部科学省補助事業  
学校におけるプールに関する保健衛生管理研修の開催について（通知）

このことについて、下記のとおり開催しますので、関係職員の参加についてよろしくお願ひします。

記

1 趣 旨

水泳プールにおける安全衛生管理及び事故防止対策について研修し、水泳プール管理者の資質の向上を図る。

2 主 催

公益財団法人日本学校保健会

3 共 催

奈良県学校保健会、奈良県教育委員会

4 日 時

平成30年5月24日（木） 開場12時 開会13時10分 終了16時30分

5 場 所

奈良県社会福祉総合センター 奈良県橿原市大久保町320-11

6 参加対象者

保健体育科教諭、プール管理担当者、養護教諭、保健主事、管理職、学校薬剤師、学校医、学校歯科医、教育委員会関係者等

7 定員 400名（申込み先着順・定員に達し次第受付締切）

8 日程・内容等

13:10～13:20 開会行事

13:20～13:50 主旨説明 文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課 担当官

13:50～14:50 講演1 「プールの保健衛生管理上の課題」

講師 法政大学スポーツ健康学部

教授 鬼頭 英明

14:50～15:00 休憩

15:00～16:00 講演2 「プールの施設管理上の課題」

講師 日本プールアメニティ協会

専務理事 中村 克彦

16:00～16:20 講演3 「学校におけるプール活動の組織管理」

講師 さいたま市立常磐中学校

校長 山下 誠二

16:20～16:30 質疑応答

## 9 参加申込み

- (1) 国立・私立学校：別紙様式1により奈良県教育委員会事務局保健体育課宛てFAXで申し込むこと。
- (2) 県立学校：別紙様式1により奈良県教育委員会事務局保健体育課宛てFAXで申し込むこと。
- (3) 市町村立学校（園）：別紙様式2により各市町村教育委員会宛て申し込むこと。各市町村教育委員会は別紙様式3により取りまとめ、奈良県教育委員会事務局保健体育課宛て提出すること。

## 10 申込先

奈良県教育委員会事務局保健体育課 健康・安全教育係（担当：高田 大介）

TEL 0742-27-9862

FAX 0742-22-3995

## 11 その他

会場の駐車台数には制限があるので、公共の交通機関を利用すること。

様式 1

奈良県教育委員会事務局 保健体育課 健康・安全教育係 行

FAX 0742-22-3995

5月17日（木）までに御回答いただきますようお願いいたします。

送付状は不要です。この用紙のみ送信してください。

平成30年度文部科学省補助事業  
「学校における水泳プールの保健衛生管理」研修会

[平成30年5月24日（木）13:10～16:30]

参加申込書

所属名	
職名	氏名

様式 2

<p>管轄の市町村教育委員会 学校保健主管課 行 F A X</p> <p>5月 日 ( ) までに御回答いただきますようお願いいたします。 送付状は不要です。この用紙のみ送信してください。</p>
---

平成30年度文部科学省補助事業  
「学校における水泳プールの保健衛生管理」研修会  
〔平成30年5月24日（木）13:10～16:30〕

参加申込書

所属名	
職名	参加者氏名



様式 3

市・町・村 No. ( )

平成 3 0 年度「学校における水泳プールの保健衛生管理」研修会参加者名簿

	所属	職名	氏 名	備考
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				

締切 5月17日(木)

平成30年5月10日

各市町村教委教育長  
各小・中学校長  
各中等教育学校長  
各特別支援学校長

殿

奈良県教育委員会教育長

## 平成30年度「歯を守る図画・ポスター・標語コンクール」 について（通知）

このことについて、下記のとおり実施しますので、図画・ポスター・標語の応募についてよろしく申し上げます。

### 記

#### 1 趣 旨

歯と口の健康週間を含む6月中に、県内の小・中学生を対象に歯を守る図画・ポスターを広く募集し、歯科疾患の予防等口腔の衛生に対する意識を高めることを目的とする。

#### 2 主 催

奈良県、奈良県教育委員会、一般社団法人奈良県歯科医師会

#### 3 募集内容

##### (1) 募集作品

歯を守る図画・ポスター

##### (2) 対象

###### ① 小学校低学年（図画）の部

県内小学校（特別支援学校小学部を含む。）の1年生～3年生の児童

###### ② 小学校高学年（ポスター）の部

県内小学校（特別支援学校小学部を含む。）の4年生～6年生の児童

###### ③ 中学校（ポスター）の部

県内中学校（特別支援学校中学部及び中等教育学校前期課程を含む。）の生徒

④ 標語の部

県内小学校及び県内中学校（特別支援学校小学部及び中学部、中等教育学校前期課程を含む。）全学年の児童及び生徒

図画・ポスターにかかれた標語を審査の対象とする。

(3) 募集方法

各学校において優秀作品を選定の上、応募すること。

① 作品内容

ア 画用紙の大きさは、B3判（4つ切）に限定する。

イ 提出作品（図画・ポスター）には、できるだけ歯と歯周（歯ぐき）に関する自作の標語を入れること。（口腔保健向上に寄与するユニークな表現を考え、「虫歯」ではなく「むし歯」と標記すること。）

② 作品の提出方法

ア 応募作品数は、各学校12点以内（厳守）とする。

イ 作品の提出に当たっては、様式1の送付票及び様式2の応募票を使用し、学校名、学年、氏名、ふりがなを明記すること。

ウ 応募票のうち1枚は、作品裏面右下にのり付けし、残り1枚は様式1の送付票とともに送付すること。

エ 1名につき1点とし、1点を複数名で作成することは認めない。

オ 様式2の貼付に当たっては、作成者と記載氏名の整合性を確認すること。

(4) 提出先

〒630-8002 奈良市二条町2丁目9-2

一般社団法人 奈良県歯科医師会事務局

TEL 0742-33-0861

(5) 提出期限

平成30年7月12日（木）

(6) 著作権等

応募された作品の著作権は主催者に帰属する。作品は学校単位で平成31年2月以降に返却する。

4 審査・表彰

主催者は、厳正な審査を行い、優秀と認められた作品に対し、次の賞を贈り表彰する。

(1) 特選

奈良県知事賞、奈良県教育長賞及び奈良県歯科医師会長賞

各部門各1名（4部門各1名計12名）

(2) 入選

奈良県歯科医師会長賞

図画の部・ポスターの部 各6名程度

(3) 佳作

奈良県歯科医師会長賞

図画の部・ポスターの部 各8名程度

(4) 図画の部・ポスターの部特選の作品3点(図画1点、ポスター2点)は、日本学校歯科医会主催の「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」に出品する。

(5) 標語の部特選の作品1点は、日本歯科医師会主催の「歯・口の健康啓発標語コンクール」に出品する。

(6) 表彰式は、「なら歯と口腔の健康づくりフェスティバル」の際に行う。

(平成30年11月11日(日) 於：リーベル王寺 実施予定)

5 その他

作品応募者全員に参加賞を贈る。

(様式1)

第 号  
平成30年 月 日

奈良県歯科医師会長 殿

学校名  
学校長名 印

平成30年度 歯を守る図画・ポスター応募について

標記について、次のとおり提出します。

番号	学 年	氏 名 (上段にはふりがなを記載)
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		

(様式2)

のりしろ  
< 応募票 (送付用) >

学 校 名	
学 年	
ふりがな	
氏 名	

-----きりとりせん-----

< 応募票 (作品裏面用) >

学 校 名	
学 年	
ふりがな	
氏 名	

※ 応募票2枚のうち1枚は作品裏面右下にのり付けし、残り1枚は、様式1とともに送付してください。

< 記 入 例 >

< 応 募 票 >

学 校 名	国 立 ○ ○ 市・町・村 立    △ △ 小学校 私 立
学 年	第      学 年
ふりがな	な   ら   たろう
氏 名	奈 良   太 郎

(注意事項)

- 1 応募票は、日本工業規格A4判の半分の大きさとし、応募票記入例を参考に応募者1名につき2枚作成して下さい。  
(学年の記入にあたっては、算用数字を用いてください。)
- 2 応募票2枚のうち1枚は、必要事項を記入のうえ作品の裏面右下にのり付けしてください。
- 3 応募票の残りの1枚は、学校名の上ののりしろ分を残し、作品とともに送付してください。

各市町村教委教育長 }  
各 園 長 } 殿

奈良県教育委員会教育長

## 平成30年度「奈良県幼児の運動能力等実態調査」 実施連絡会の開催について（通知）

このことについて、下記のとおり開催しますので、関係教職員の参加についてよろしくお願  
い  
します。

### 記

#### 1 目 的

幼児の運動能力等の実態調査を円滑に進めるため、調査実施幼稚園・認定こども園・保育所  
に対し、調査方法及び運動能力の向上につながる運動遊びとその工夫等についての説明を行う。

#### 2 日時及び会場

平成30年5月30日（水） 13：30～14：30

県立教育研究所 磯城郡田原本町秦庄22-1

#### 3 参加対象者

幼児の運動能力等実態調査を実施又は検討している幼稚園、認定こども園及び保育所の教職  
員

#### 4 内 容

- (1) 調査の概要と調査方法について
- (2) 奈良県小学生の体力テストの現状と運動遊びの工夫について
- (3) 幼児向け運動・スポーツプログラムの普及について

#### 5 参加申込み

平成30年4月5日付け週報第2291号掲載の参加基本様式により、職名、氏名を記入  
の上、平成30年5月28日（月）までに下記宛て郵送又はFAXで申し込むこと。



〒636-0343 磯城郡田原本町秦庄 2 2 - 1

県立教育研究所教育経営部 教育企画係

TEL 0744-33-8902

FAX 0744-33-8909

各市町村教委教育長 }  
各 園 長 } 殿

奈良県教育委員会教育長

平成30年度幼稚園教育理解推進事業（奈良県協議会）  
全体会の開催について（通知）

このことについて、下記のとおり開催しますので、関係教職員の参加についてよろしくお願  
いします。

記

1 趣 旨

幼稚園教育理解推進事業を受け、奈良県において幼稚園教育の振興・充実を図るため実施す  
る奈良県協議会の取組の成果と今年度の研究に向けての協議主題を共有する。

2 期日及び会場

平成30年5月30日（水）

県立教育研究所 磯城郡田原本町秦庄22-1

3 参加対象者

幼稚園・認定こども園・保育所の教職員及び市町村幼稚園・保育所所管課担当者

4 日程及び内容

15:00～15:10 開会行事

15:10～15:40 平成30年度幼稚園教育理解推進事業（奈良県協議会）事業説明

15:40～16:50 講演

16:50～17:00 閉会

5 講 演

講師 NPO法人奈良県防災士会 理事長 植村 信吉

演題 「災害に備える防災の基本（仮）」

## 6 参加申込み

平成30年4月5日付け週報第2291号掲載の参加基本様式により、職名、氏名を記入の上、平成30年5月24日（木）までに下記宛て郵送又はFAXで申し込むこと。ただし、参加者は各所属2名までとする。

〒636-0343 磯城郡田原本町秦庄22-1

県立教育研究所教育経営部 教育企画係

TEL 0744-33-8902

FAX 0744-33-8909

各市町村教委教育長  
各園長  
各特別支援学校長 } 殿

奈良県教育委員会教育長

## 平成30年度第1回就学前教育職員研修会 の開催について（通知）

このことについて、下記のとおり開催しますので、関係職員の参加についてよろしくお願ひします。

### 記

#### 1 目的

就学前教育に関係する職員の合同研修会を開催し、県内の保育所、幼稚園及び幼保連携型認定こども園の連携推進や子ども一人一人の人権を尊重する保育の充実を図る。

#### 2 主催

奈良県、奈良県教育委員会

#### 3 期日及び会場

平成30年5月31日（木）

県立教育研究所 磯城郡田原本町秦庄22-1

#### 4 参加対象者

幼稚園及び特別支援学校幼稚部の教員、保育所保育士、幼保連携型認定こども園保育教諭、各市町村幼稚園及び保育所並びに幼保連携型認定こども園主管課担当者

#### 5 日程及び内容

14:00～14:10 開会行事

14:10～14:40 事業の趣旨説明及び新しい教育要領・保育指針の方向性について

14:40～15:10 乳幼児の保育・教育について

15:10～15:40 就学前から小学校への接続について

15:40～16:20 グループ討議

16:20～16:30 閉会行事

6 参加申込み

平成30年4月5日付け週報第2291号掲載の参加基本様式により、職名、氏名を記入の上、平成30年5月28日（月）までに下記宛て郵送又はFAXで申し込むこと。

〒636-0343 磯城郡田原本町秦庄22-1

県立教育研究所教育経営部 教育企画係

TEL 0744-33-8902

FAX 0744-33-8909